

2025年度生産性向上支援訓練オープンコース コース案内

主催：滋賀職業能力開発促進センター（ポリテクセンター滋賀）

（問い合わせ先）生産性センター業務課 TEL：077-537-1176

コース番号	025	訓練分野	A.生産管理－生産・開発計画
コース名	ものづくりの仕事のしくみと業務改善		
正式な コース番号・ コース名	25-25-12-048-025 ※リーフレットには「コース番号」は左記の末尾3桁を記載しています。 ものづくりの仕事のしくみと生産性向上 ※正式なコース名は、上記「コース名」と異なる場合のみ記載しています。「コース名」は受講者募集用に設定したものです。助成金の手続きの際には正式なコース名を記載してください。		
開催日時	2025/11/14（金） 9：30～16：30（昼休憩 12：30～13：30） 受付開始 9：10 9：20までにご着席ください。オリエンテーションを行います。		
会場	ポリテクセンター滋賀 滋賀県大津市光が丘町3-13 JR石山駅から徒歩10分、京阪唐橋前駅から徒歩5分、無料駐車場有（事前予約不要） TEL：077-537-1176		
対象者	初任層・中堅層 ●製造業に携わって日が浅い方 ●製造業全体のしくみや流れを知りたい方 ●製造現場における課題や発見解決方法を学びたい方		
習得する スキル等	●製造業の業務の流れと各部門の役割 ●製造業全体の基本的なしくみ ●製造現場での仕事に対する考え方、自身の立場や責任 ●業務改善の考え方		
ポイント	製造業とは何かを知り、仕事に取り組む基本姿勢と業務の流れを自身の立場に紐づけて理解できるとともに、自らが自発的にものづくり現場における問題解決を通じて生産性向上が図れるよう、問題発見・解決の考え方や進め方を演習を含めて習得できるような研修内容にしました。		
	<p>1 ものづくりの仕事の流れ</p> <p>（1）製造業を取り巻く環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本のものでづくりの現状と取り巻く環境を国内外の視点で解説する。 <p>（2）企業経営とは</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業活動の全体像について経営品質をベースに解説する。 <p>【演習】自社について考える（セルフワーク/グループ討議）</p> <p>（3）ものづくり活動の基本</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製造人として必要な仕事に取り組む基本姿勢と進め方の基本について解説する。 <p>2 ものづくり現場の現状と課題</p> <p>（1）生産の3要素と4M管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産性を向上させるためのQCDDの考え方と生産工程における4Mの変化点管理の仕方について解説する。 <p>（2）生産管理のしくみ</p>		

内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 製造業にとって重要である品質管理・原価管理・納期管理・安全管理等の生産管理/統制のポイントを解説する。□ 【演習】原価の見える化 (セルフワーク/グループ討議) ・ 各生産方式とその特徴から、自社におけるものづくり競争力を確保する考え方について解説する。 【演習】生産方式と特徴 (セルフワーク/グループワーク) <p>3 ものづくりに関する業務改善</p> <p>(1) 問題発見・解決</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ データに基づく問題発見や課題解決を行うための改善手法(ロジカルシンキング)について解説する。 【演習】問題分析手法 (セルフワーク/グループ討議) <p>(2) ものづくり現場の5 S</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生産現場を見える化する手法である5 Sの基本と定着化に向けた進め方について解説する。 <p>(3) 現状のムダに気づく</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生産現場におけるムダに気づく着眼方法について、7つのムダと3ムの視点から解説する。 【演習】ムダに気づく (セルフワーク/グループワーク) <p>(4) 改善活動の基本</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 改善活動への取り組みの基本姿勢と着眼ポイント、実践の仕方について解説する。 【演習】ムダな作業の改善 (セルフワーク/グループワーク) 		
実施機関	パナソニックエレクトリックワークス創研株式会社		
定 員	15 名	受 講 料	3,300 円 (税込)
使用ソフトウェア	ー 実施機関・講師からのメッセージ		
持参品等	筆記用具、電卓 (スマホ)		
備 考	ー 知識やスキルの習得に加えて、職場ですぐに実践できるように、ポイントごとに個人やグループの演習を組み込んでいます。		